

### 令和4年度第3回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和4年3月25日（金）12：30～13：45

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・教授
3	小滝 敏之	常任理事・特任教授
4	山浦 裕幸	経済学部長・教授・理事・評議員
5	横山 洋子	こども学科長・教授・評議員
6	飯島 一生	高校副校長・評議員
7	山口 博	大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
8	安藤 あづさ	高校教頭・評議員
9	秋元 浩	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
10	本田 達之介	千葉経済大学父母の会会長・評議員
11	内藤 定雄	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
12	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
13	茂手木 直忠	医療法人社団直心会理事長・校医・産業医・評議員
14	影山 美佐子	ビジネスライフ学科長・教授・理事・評議員
15	山口 和夫	(株)さつま屋社長・評議員
16	村松 重彦	(学)聖メリー学園・小ばと幼稚園理事長、園長・評議員
17	石渡 哲彦	株式会社千葉銀行顧問・評議員
18	佐久間 道子	評議員
19	栗沢 尚志	大学教授・評議員
20	藤生 裕	大学教授・評議員
21	佐久間 達郎	評議員
22	積田 悟	前高校副校長・評議員
24	嶋田 和雄	(株)グランドアール取締役・評議員
25	青柳 俊一	(株)千葉興業銀行会長・学園監事
26	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

#### 議題

##### 【1】令和4年度第3次補正予算について

議長の指名により、石井 伸 会計課長代理から、別添1「令和4年度資金収支第3次補正予算書・事業活動収支第3次補正予算書」に基づき、科目ごとに4年度第2次補正予算に対する4年度第3次補正予算の増減額及び増減理由の説明があった。

##### 【2】令和5年度事業計画について

議長の指名により、吉田 悦教 法人事務局長から、別添2「令和5年度事業計画(案)」に基づき、令和4年度と異なる点を中心に学園全体及び各学校の令和5年度事業計画が説明された。

#### 基本方針

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の向上を図り、良識と創意に満ちた人材の育成を使命として、学園経営に当たる。学生・生徒数の確保と徹底したコスト抑制によって財務の健全化を図り、教育環境の整備充実に努める。

#### 令和5年度事業計画

〔千葉経済学園〕

##### ●建学の精神の啓蒙

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」について、「今月の論語」の教室掲示や総合図書館の「論語コーナー」設置等の多様な取組みを通して周知徹底を図る。

##### ●学園創立90周年事業

学園90周年記念誌の発行によって「故きを温ねて新しきを知る」とともに、学園の更なる飛翔を願って創立記念式典を挙げる。創立100周年を見据えた寄付募集活動の推進について検討する。

##### ●大学・短期大学・高校の三者連携推進

「千葉経済学園三者連携会議」を軸に、教育、入試、進路指導、広報、学生・生徒の諸活動等にわたって三者間の密なる機能連携を図る。

●感染拡大対策を講じての教育展開

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策措置を継続し、文部科学省の指針を踏まえた授業運営によって教育の質の充実に努める。

●資格取得の奨励

各種検定・資格の取得を奨励し、高度資格の取得者には奨励金を授与する。

●広報活動の充実・強化

高校・短期大学・大学進学適齢人口の減少を踏まえて、学園の魅力や強みの発信を強化して認知度を高める。オープンキャンパス参加者には継続的に情報発信し、志願・入学へと連動するように導き、学則定員を確保する。

① 附属高校の広報活動

普通科・商業科・情報処理科の3学科を設置する「懐の深い高校」であることを、ホームページやKEIZAIニュースで広報する。部活動や資格取得などで頑張る生徒を心から応援する学校であることを広く知らせ、向学心のある生徒の入学に努める。

●地域社会との連携

「ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム」（本学・千葉大学・敬愛大学・千葉市・民間企業等の14団体）の、起業家精神を育成するための事業に参画し、附属高校商業科の「課題研究」におけるビジネス学習の充実も図る。

●ボランティア活動の推進

学園ボランティアセンターが中心となって、地域の関係団体と連携したボランティア活動を推進し、学生・生徒に「利他の精神」を育む。

●FD 及び SD の充実

大学・短期大学では「SD（教職員の職能力向上のための研修）推進計画」を踏まえ、FD（教員の教育力向上のための研修）と連動して、組織的・体系的な研修の充実を図る。ハラスメントについての研修は附属高校の教職員も含めて学園として取り組み、その防止と排除に努める。

学園事務局では部局を超えた協働・協力体制を整え、そのうえで教職協働によって学園の教育環境の充実を図る。

●働き方改革関連法への対応

働き方改革関連法を踏まえて労働条件の改善に努め、雇用形態の異なる職員間に均衡の取れた待遇がされるように規程整備を図る。

●防災備蓄の整備

学生・生徒・教職員用に非常用食料や保温シート等の防災用品を計画的に備蓄し、災害時に備える。

[千葉経済大学附属高等学校]

●「令和の日本型学校教育」の実現に向けた教育

新学習指導要領の謳う「主体的・対話的で深い学び」の実現に努め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を適切に連動させて、生徒一人ひとりの可能性を引き出す授業展開に努める。

●学力向上を図る授業改善

新教育課程への年次進行 2 年目にあたり、各教科の指導内容と学習評価について共通理解を図り、教育活動の質の向上と学習効果の最大化を期してカリキュラムマネジメントに努める。新 1 年生から購入するタブレット機能を活かした授業改善に取り組む。

●観点別評価を活かした学習評価とキャリアパスポートによる指導の充実

新学習指導要領が提示する観点別評価を適切に行い、3 観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）の評価を活かして生徒の学習支援に努める。学内外で行う活動を「キャリアパスポート」に適宜記載させることで自らの成長を確認させ、キャリア指導を活かしていく。

●普通科の教育充実

特進コースでは、理系を志望する生徒の教科指導も充実させて、多様化する大学入試に適切に対応した進学指導に努める。導入済みのスタディサプリ等の ICT 活用を推進し、国公立難関大学への進学実績を高めていく。

文理一般コースでは、教科横断的な学習を「総合的な探究の時間」を活かして行い、将来を切り拓く確かな学力を身につけさせて大学進学の実績を上げていく。

●商業科の教育充実

商業科ではビジネス関連科目の教育の充実を図り、高度資格に挑戦する支援を積極的に行う。商業科の学習の集大成となる「課題研究」では、模擬株式会社の設立によって商品開発と流通についての学習を、地域の産業界の協力を得ながら体験的に行っている。この実績を踏まえて、ビジネス活動の場をさらに拡充して商業教育の可能性を模索する。

#### ●情報処理科の教育充実

情報処理科では IT 社会で活躍するための基礎的な知識やプログラミングスキル等を習得させ、経済産業省の国家試験等での合格者の輩出に努める。知識基盤社会で必要とされる情報処理・加工・活用能力を磨き、変化の著しい時代を生きるにあたって欠かせない柔軟な対応力を養成していく。

#### ●部活動の意義を踏まえた振興充実

部活動については、スポーツ庁や文化庁のガイドラインに則り、教員の働き方改革の動向を踏まえて、健全で効率的・効果的な活動を展開し、生徒の資質・能力を伸ばして活性化していく。各種大会やコンクールでの活躍を目指すとともに、文化祭等において学内でのパフォーマンスの機会の充実を図る。

#### ●生徒募集活動と広報活動

少子化によって 15 歳人口が漸減するなかで、本校の魅力や生徒の活躍の様子について、ホームページや KEIZAI ニュースなどによって随時広報して、全教職員が総力をあげて定員確保に取り組む。

#### ●教員研修の充実

経験年数の浅い教員への研修を計画的に実施し、教員としての資質の向上を図る。新学習指導要領への移行を円滑に進めるために、教科研究授業や論語公開授業などによって、教育力の向上を目指すとともに、令和 5 年度入学生からのタブレット導入に対して、ICT 教育の充実に向けた研修を重ねていく。

#### ●いじめ及び体罰の防止による健全な教育活動の展開

「いじめ及び体罰防止対策委員会」を活かして、いじめ及び体罰の防止に積極的に取り組むことで、健全な教育活動の展開に努める。

#### 【4】千葉経済大学附属高等学校第 2 グラウンド部室棟建築について

議長の指名により、吉田 悦教 法人事務局長から、別添 8 「千葉経済大学附属高等学校第二グラウンド部室棟建築事業概要」に基づき、議案のとおりのおり建築することとする旨の説明が行われた。

#### 【5】その他（報告事項等）

##### 近況報告

飯島 一生 高等学校副校長より近況報告があった。

3 月 4 日に卒業式を実施いたしました。3 年ぶりにマスクなしで卒業式に望めると言う

ことでしたが、生徒達は、約半数がマスクを外して参列しておりました。千葉日報の取材を受け、新聞報道されました。文部科学省は、4月1日から学校教育の現場でマスクの着用を求めないとしていますが、生徒達も、もうしばらく様子を見ながら決めて行くものと思います。586名の生徒が無事巣立っていきました。

最近の高校の動向ですが、女子のバスケットボール部がウィンターカップで全国ベスト8になりました。これは、これまでの最高成績で顕著な成績でありました。その他、①令和4年度青少年読書感想文千葉県コンクールで、教育長賞・優良賞を受賞、②日本地質学会ジュニアセッション第20回小、中、高校生徒「地学研究」発表会で優秀賞受賞。色々な分野で活躍してくれております。今後も、それぞれの良いところを伸ばしてくれると思います。

卒業生の進路関係ですけれど千葉経済大学・千葉経済短期大学部の方に内部推薦等を含めて121名が進学しております。その他、千葉大学の教育学部や学習院、明治、同志社、立命館、獨協、文教、日大、東洋、駒澤等の大学に進学をしております。

この後、新年度の準備を進めて、4月7日が新入生の入学式となっており、639名を迎えて新学期をスタートするということになります。今後ともよろしく願いいたします。

#### 意見

文部科学省は、4月1日から学校教育の現場でマスクの着用を求めないということですが、場面に応じた必要な感染症予防対策を実施しながら、教育活動を行ってもらいたいとの意見が出された。